多自然川づくり取り組み事例

タ　イ　ト　ル	：高水敷切下げによる環境改善の取組みについて		
水系／河川名	：円山川水系円山川	河川分類	：大河川
河川の流域面積	：1300km2　整備計画流量：4900m3/s(W=1/40)	セグメント	：2-2
事　　業	：環境整備	事業開始年度	平成15年度
目標設定	：定性的	段　　階	：D(実施・施工時)
課題・目的(主な)	：ワンド・たまり、池沼の保全・再生・創出、水際域の保全・再生・創出		
工法(主な)	：掘削(高水敷)		
配慮事項(主な)	：委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

＜背景＞

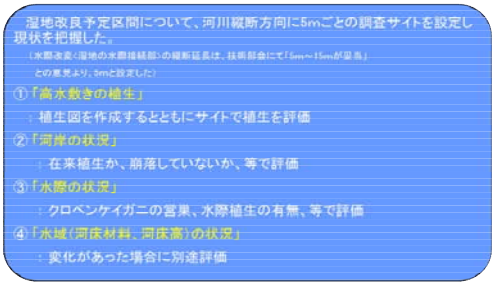
円山川では、平成16年台風23号による被害を受け、激特事業において河道掘削を行っており、その際、高水敷の切り下げ高を工夫することにより、湿地を創出した。しかし、施行後のモニタリングでは、当初想定していた湿地性植物群落の定着が見られないなどの課題が見えてきており、湿地の質的向上を図るため、湿地形状の改良に取り組んだ。有識者等からなる自然再生推進委員会からの意助言より、現地の保全すべき環境を把握した上で形状を決めることとし、決定に至るまでのとり組みや工夫についてまとめた。

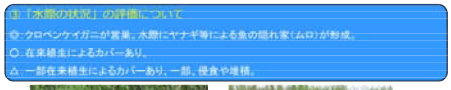
＜目標＞

・保全すべき環境の把握と対策・工夫
・魚類等の生物への配慮

取り組み内容・対策例

【現地調査の実施】





自然再生推進委員会からの助言を受け、水際河岸の環境について把握するため調査を実施した。

ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ結果、ｱﾋﾟｰﾙﾎﾟｲﾝﾄ、今後の対応方針

《ポイント》

現地調査により、保全すべき環境を抽出することが出来た事
工事による環境への負荷を抑えることが出来た。

《今後の対応方針》

〇湿地機能の維持を継続的に実施していく
　・土砂の堆積除去
　・外来植物の駆除
　・モニタリング調査
　・地域との連携と湿地の利活用　　など

備考

問い合わせ先	近畿地方整備局　豊岡河川国道事務所　調査課
電話番号	0796-26-2023